

●生活・法律相談は

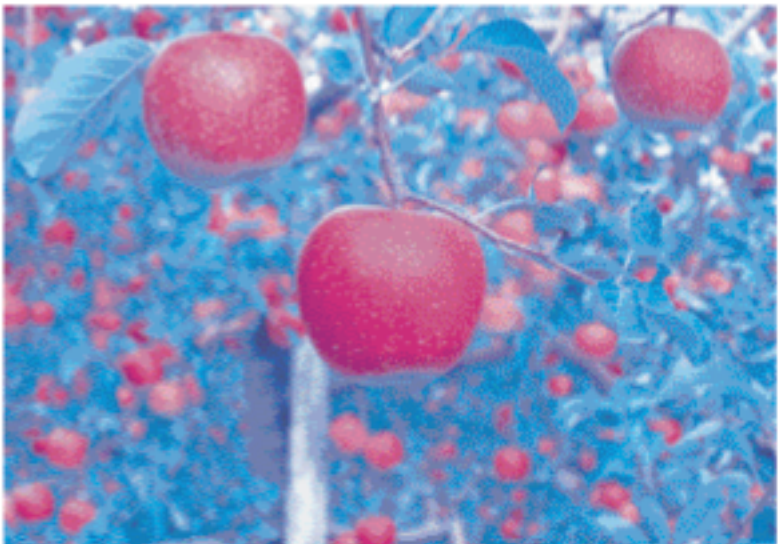
◆市議会議員 高野 とも (7155) 1683
◆市議会議員 いぬい 紳一郎 (7159) 2773
◆市議会議員 小田 桐たかし (7154) 0878
◆市議会議員 安西 孝之 (7148) 6870
◆元市議会議員 若王子 博夫 (7159) 0861
◆元市議会議員 せのお七重 (7146) 0694

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽におよせ下さい。

流山民報

2005年10・11月号
第147号
編集発行人
日本共産党流山市議団
流山市加4-1688
TEL/FAX (7157) 6140
E-Mail: kfbkd645@ybb.ne.jp

6歳までの医療費助成が実現へ 世論と運動が前進つくる



ホームページを開設しました
<http://www.geocities.jp/kfbkd645>

国・県・流山市でも、
みなさんと取り組んできました
乳幼児医療費無料化の拡充

日本共産党

来年度、乳幼児医療費助成制度が拡充されることになりました。通院費は2歳から就学前となり、入院費は『7日以上継続して入院した場合』という条件を撤廃します。長年、市長や議会へ働きかけてきた市民の運動と世論が勝ち取った成果です。

一方、自民・保守派や公明党は、通院費の助成を就学前まで拡充することを求め、自民・保守派や公明党は、通院費の助成を就学前まで拡充することを求め、反対してきました。

介護、国保の負担軽減でも力を合わせましょう

10月1日から特養ホームなど介護施設に入所されている方の負担が増やされました。日本共産党は、『国保を良くする会』と一緒に対市交渉を行い、2548筆の署名を提出。国保料の引き下げなどを求めました。

国民健康保険では、不況

のもと保険料が払いきれず、正規の保険証を取得できない方が続出しています。

日本共産党は、『国保を良くする会』と一緒に対市交渉を行い、2548筆の署名を提出。国保料の引き下げなどを求めました。

大増税にストップ

憲法を守りぬく

小泉政治の暴走許さず
たしかに野党でがんばります

総選挙が終わったとたん、小泉内閣は増税の具体化を表明。自民党は、策定中の改憲草案に、憲法九条を改変し、アメリカと一緒に戦争できる国へ変えようとしています。

「毎日」の世論調査(5日付)によると憲法九条について「変えるべきでない」が62%、「平和に役立った」が80%と、『憲法九条守れ』が国民の声です。

	日本共産党	新社会	創成会	公明党	市民連合	社民・新志会	結果
H16年度一般会計決算	×	○	○	○	×	○	認定
東幼稚園を『廃止』する条例	×	○	○	○	×	○	可決
流山市立幼稚園に関する陳情書	継続	×※1	×	継続	継続	継続※2	継続
松ヶ丘4丁目郵政自治会地区の本下水道整備の促進を求める陳情書	○	×	×	×	○	×	不採択
自己負担の引き上げなど高齢者医療改善に反対する意見書	○	×	×	×	○	×	不採択
アスベストの除去を急ぐなど早期対策を求める意見書	○	×	×	×	○	×	不採択

※1 新社会の青野議員は継続に賛成しました。※2 新志会の宮田議員は反対しました。

市民の声聞かずに、サービスカット・負担増 沿線巨大開発には大盤振る舞い H16年度決算

議員の役目は、予算・決算を
市民の立場からチェックすることです

出張所の統廃合、公共施設間循環バスや公立幼稚園の廃止、補助金カット…。当事者や市民の声を聞かずに政策を決定する市長のやり方に、批判が高まっています。

「決して高くない」と市長も認める福祉予算(民生費)は東葛地域で最下位です。それにもかかわらず、『財政難』を理由にさらに削減。国保料や保育料の値上げ、障害者手当のカットなど、影響額は4億4千万円にもなります。

一方で、新線沿線巨大開発を市政運営の中心に据えて、ヒトも金も集中。「投資をしない街は衰退する」と居直ります。

日本共産党は、「福祉や教育こそ優先すべき」と求めました。しかし他の政党・会派は、沿線開発の促進決議を提案。税金のムダ使いにメスを入れようとしません。

これでは、市民の立場で行政をチェックする議会の役割が問われます。

「住民の福祉の増進を図る」の役割発揮し

(地方自治法第一条)

市民とともにがんばる 日本共産党の4議席



市議会議員
高野 とも



市議会議員
いぬい 紳一郎



市議会議員
小田 桐たかし



市議会議員
安西 孝之

税金の使い方をチェックする決算審査もおこなわれた9月議会。公立幼稚園の存続や各地域の要求実現に奮闘しました。
とくに、当局も議会も『官から民へ』という流れを強めるなか、日本共産党は、自治体の役割を真正面から取上げ、発揮させるよう求めました。

公立幼稚園廃止は許されない

「子どもたちの幼稚園なくさないで」の声にこたえて

公立幼稚園の存続を求める署名は6月議会時点よりさらに増え、1万7千筆余が市長に提出されました。議会にも3園存続のための具体案を示した陳情が提出され、審査されました。

きない家庭は通えないこと、流山・江戸川台幼稚園の保護者に一度も説明されていなかったことが明らかになりました。

日本共産党は、「子ども」の教育に効率性を持ち込むべきではない。市民の署名を重く受け止めよ」と賛成討論をおこない、『継続審査』となりました。

引き続き、市の公的責任を果たさせるため、力を尽くします。

アスベスト問題

早急に実態調査と対策を

全国的に健康被害をもたらしかねないアスベストとは考えていない」とするだけで、一般質問や委員会で取り上げ、早急な実態調査と対策を求めました。

市長は「深刻な社会問題」としながらも、「健康調査

だけでなく、病院や介護施設

設など、国の通達に基づく民間事業者の調査も要請。「結果が集約できていない」という当局に、他の自治体と比較しても対応が遅いと早急な調査・対策を求めました。

指定管理者制度

「公の施設」が企業のもうけの場に

『官から民へ』と、公的役割を後退させる流れが強まるなか、市民プールや心身障害者福祉作業所『さつき園』、福祉会館など15施設に指定管理者制度を導入する条例が提案されました。

質疑のなかで、『さつき園』

では、利用者と職員の信頼関係ができないまま移行されるのではとの疑問や、他の施設でも、利用料の値上げやサービス低下が懸念されると指摘されました。

日本共産党は、指定管理者の公募方式が、営利目的の民間事業者の参入に道を開くと批判。社会福祉施設

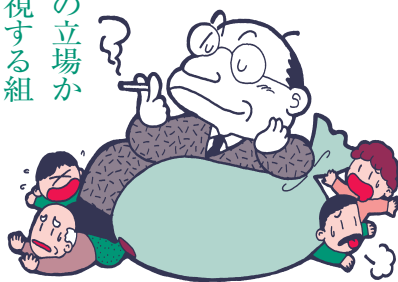
問題が山積み!

新線開業したけれど

8月24日、つくばエクスプレスが開業しました。しかし、問題は山積しています。

鉄道利用者は予想を下回り、鉄道から見える市内の緑地は、開発がすすめば、さらに剥ぎ取られてしまいます。

事業が遅れている沿線開発では、運動公園地区や西平井・鰯ヶ崎地区で終了年度を延期することに。西平井・鰯ヶ崎地区の保留地は、計画より約2割安い値段で売買され、莫大な赤字が出ることも懸念されています。



公共施設間循環バス

存続・拡充し、市民の足を守れと提案

公共施設間循環バスの廃止決定に対し、初石地域では、住民主催の説明会がおこなわれ、存続を求めました。

発言。「大分理解は得られている」と、説明会の開催も拒否しました。

しかし、9月議会でも市長は、「新線開通で、循環バスの役割は低くなった」と

南柏駅西口エスカレーター「柏市と協議」と市長 安西 孝之



西初石4丁目凸凹歩道を改善 小田 桐たかし



三輪野山地域から初石方面へのバス運行を検討 いぬい 紳一郎



生活保護のパンフレットが改善されました 高野 とも



身近な要求実現